



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

c/o YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN ☎920-0998

☎(076)22

<http://www.y's-chubu.jp/saigaways/>

国際会長主題	「世を照らす光となろう」 “Be the light of the world”
スローガン	「恵みを愛もて分かち合おう」 “Share your blessings in love”
アジア地域会長主題	「歳月は Y's をワイズ (賢者) にする」 “Years bring wisdom”
スローガン	「行動が活力を呼び覚ます」 “Action vitalize life with strength”
西日本区理事主題	「先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」
スローガン	「ワイズメンの満足度向上を 真摯に取り組もう」
中部部長主題	「前へ! 声を掛け合い!」 “Go forward! Call together!”
金沢犀川クラブ会長主題	「活力に満ちたライフを!」 “Vitalize Our Lives at the Y's Men's Club!”
会長: 澤瀬 諭, 副会長: 川村孝治, 書記: 北 肇夫, 会計: 三谷信三, 直前会長: 北 肇夫	

今月の聖句: 希望はわたしたちを欺くことはありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、
神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。ローマの信徒への手紙 5 章 5 節

2013年5月強調月間 LT (leader-training)

ワイズメンに対するクラブ内のトレーニングが出来ているでしょうか。ドロップアウトを減らすためにも考えてみましょう。成瀬晃三理事 (名古屋クラブ)

<p>☆☆☆5月例会案内☆☆☆</p> <p>日時: 5月9日(木) 19:00~21:00 場所: KKR ホテル金沢(金沢市大手町 2-32) 会費: 3,000 円 準備: 三谷君</p> <p>***プログラム***</p> <p>司会: 平口君 開会・点鐘: 澤瀬会長 ワイズソング: 一同 今月の聖句: 司会者 今月のハッピーバースデー: 澤瀬会長 平口メット(20日) ゲスト紹介: 司会者 食前の感謝: 竹中君</p> <p>—— 会食 ——</p> <p>卓話 千田和弘氏 (株式会社ハッソ代表取締役) 「“食べられるほど安心” な化粧品」</p> <p>事業委員報告: 各委員 ニコニコタイム: 三谷君 閉会・点鐘: 澤瀬会長</p> <p>*例会に使用済み切手をご持参ください。</p>	<p>☆☆☆4月例会報告☆☆☆</p> <p>[第一例会] 金沢 YMCA 主催 “たけのこ掘り体験” に参加、4月29日(月・祝)10:00~15:00、北陸学院大学三小牛キャンパス、当クラブからの参加者: 川村君・北君・澤瀬君・澤瀬メット・竹中君・竹中メット・竹中メット2名・平口君・三谷君、計10名。 [第二例会] 4月11日(木)19:00~21:00、金沢 YMCA 集会室、参加者: 川村君・北君・澤瀬君・竹中君・平口君。</p> <p>6月第一例会(創立20周年記念) 6月13日 19:00~21:00、金沢白鳥路ホテル、卓話: 桶谷忠司氏(日本キリスト教団 福野伝道所牧師)「わかりやすいキリスト教」。</p> <p>6月の当番 司会: 三谷君、準備: 川村君</p> <p>今月の聖句について 「信仰によって義とされた」者たちは、「主イエス・キリストによって神との間に平和を得て」、「神の栄光にあずかる希望を誇りにし」、かつ「苦難をも誇りとし」、「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを」知っている(5章1~4節)。このことを前提にして、「今月の聖句」に掲げた5章5節が記されている。「聖霊」とは「神からの働きかけ」である。</p>
--	---

当クラブ	4月出席者	4月出席率	BFポイント	ニコニコタイム
正会員 6名	メン 6名	100%	前月繰越切手 2,251g	3月累計 164,537円
広義会員 0名	メネット 2名		4月分切手 20g	4月分 0円
	マゴメット 2名	メーキャップ 0名	今年度累計	
	ビジター 名		切手 2,271g	
	ゲスト 名		現金 0円	
合計 6名	10名	100%		累計 164,537円

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

◆ 4月“たけのこ掘り”体験記 ◆

竹中 丈晴

今年も4月29日(祝・月)に北陸学院三小牛キャンプの竹林でYMCA主催“たけのこ掘り体験”が行われた。私は昨年初めての参加であったが、この経験を孫たちにさせてやりたいと思い、今年は家内と二人の孫を連れて参加させていただいた。

当日は天候に恵まれ、絶好のたけのこ掘り日和となった。準備担当者は9:00、他は10:00に現地集合。我が犀川クラブから10名、金沢クラブから3名、YMCAより3名、北陸学院小学校から子どもたち4名と保護者の方3名、新しく北陸学院大学学長になられたCunningham氏が参加(総勢23名)。



(開会前に記念の集合写真を撮りました)

YMCAの朝倉理事長より開会の祈りとお話のあと、川村ワズよりたけのこ掘りのコツを教えていただき、各自分散、それぞれたけのこ掘りに挑戦した。小学生から高齢の我々まで汗かき奮闘、素人には結構ツイ作業であった。今年のたけのこは裏年であり生えていなかったが、それでも各自助け合って自分の食べる分くらいの収穫があった。



(たけのこ掘りのお手本を示す川村ワズ)

お昼は澤瀬メットさんが現場でたけのこ味噌汁を作って下さり、数澤ワズの食前の祈りのあと、当日早朝から準備されたたけのこご飯、たけのこ煮物、ゼンマイ煮物、漬物などをいただいた。適度な運動の後でもあり、ほとんどの方がおかわりをし、美味しいたけのこ料理に舌鼓を打った。



(たけのこ料理に舌鼓を打っています)

後片付けのあと全員自己紹介をし、最後に子どもたちの要望に応じて幸正金沢クラブ会長の指導のもと、足ジャンク遊びをした。澄み切った快晴の青空の下でのたけのこ掘りを大いに満喫し、無事終了することができた。

◆ 滋賀蒲生野クラブ・金沢クラブ合同 “焼牡蠣”例会参加記 ◆

平口 哲夫

4月6日(土)に能登でプリアリの牡蠣を焼いて食べる例会があるので参加を希望。当日午後、金沢白鳥路ホテル前で伊藤ワズ運転の車に同乗、渋谷ワズ宅に立ち寄り、さらに幸正会長運転の車や滋賀蒲生野クラブ一行の車と合流して一路七尾へ。和倉温泉にあるホテル・アルファワン能登和倉にチェックイン、総湯で一浴びしてから中島町の“かき処 海”に。

まずは生ビールで乾杯。牡蠣のオイル漬、炭火で焼く殻付の牡蠣が一人当たり10個、牡蠣フライが一人当たり5個、牡蠣鍋に牡蠣ごはん。牡蠣尽くしの料理を腹いっぱい堪能。私は、この写真を撮ったあと、炭火が出す一酸化炭素のせいか気分が悪くなり、しばらく退席。参加者14名中、男性8名(金沢5、蒲生野2、犀川1)、女性6名(金沢1、蒲生野5)。



翌日、のどしま水族館を見学してから帰路に就きました。途中、志賀町の“みちのえき”で昼食、「旬菜館」で原木しいたけ・干し青さ・ころ柿を購入。

◆ 金沢クラブ4月第一例会に参加して ◆

北 肇夫

金沢クラブ4月第一例会は、4月18日(木)18:30から金沢ニューグランドホテルで荒川中部部長・若松西日本区大会実行委員長・大西委員・郷戸委員(四日市クラブ)を招いて開催された。3名の入会式も挙行され、金沢犀川クラブからもお祝いを兼ねて澤瀬会長、平口次期中部部長、北次期中部書記が参加、参加者総数22名という賑わいとなった。

講師の植松茂氏(元北陸放送アナウンサー)は、「声と言葉と目～声と言葉の使い方、目、顔の表情は心の窓です～」と題し、話し方上手、聞き上手になる日常の心がけについて発音練習や朗読をまじえて話された。その語り口は、長年にわたるアナウンサー経験者だけあって、マイクなしでも会場の隅々まで声が通っていた。

ほぼ定刻のお開きの後には、同ホテル最上階のラウンジで、遠来の4名、金沢クラブの新入会員やメットたちの参加のもと、ここでも賑やかに交流・歓談の場が持たれた。



(向かって前列左から3人目が植松茂氏)

《 金沢 YMCA のホームページ 》

<http://www.ys-chubu.jp/kanazawaymca/>